

菓子製造



ものづくりマイスター派遣先

学校法人白藤学園 奈良女子高等学校

〒630-8121 奈良県三条宮前町 3-6

概要

(H28.7 取材当時)

学校長 米田 安男

創立・沿革 明治26年 正氣書院開設
昭和21年 校名を奈良女子商業学校に改称
昭和25年 校名を奈良白藤高等学校に改称
平成9年 校名を奈良女子高等学校に改称
平成24年 7コース制開始
平成26年 通信制課程設置

コース科 センター受験、文化みらい、エレメンタリー
ミュージック、スポーツサイエンス、パティシ
エール、イラストデザイン、保育

卒業生総数 11,600名

教職員数 48名

マジパンコンテストに挑戦したい 生徒たちのために

学校として、専門性の高いの生徒を送り出すために、必要な知識と技能を少しでも多く身につけてほしいという思いがあります。そうした観点から、「ものづくりマイスター制度」を活用していますが、非常に良い制度であると感じています。今回は、マジパンコンテストに挑戦したいと手を挙げた生徒たちが、ものづくりマイスターの指導を受けました。



河本マイスターの指導の様子



カリキュラム

期 間	平成27年 8月～9月
実施場所	奈良女子高等学校
受講者数	19名

	指導日	指導内容
1	8/25	マジパンの理論、マジパンの土台づくり
2	9/8	マジパンの装飾

自分で頭に描いたものを形にできるという 作業が職業にできたら最高

● ● ● ケーキ作りも造形も 似たところがある

私自身は、もともと高校は美術科の出身でしたし、美大の受験も志していました。しかし、美大の受験はうまくいなくて、もう一つ進みたい道がこちらのお菓子作りでしたので、こちらに進むことにしました。高校時代には造形の勉強ばかりしていましたが、ケーキを作るのも造形も似たようなところがあります。造形で学んだ色のバランスやものの配置の問題などは、ケーキ作りにも役立っていると思います。自分で頭に描いたものを形にできるという作業が職業にできたら最高だと思っていました。

● ● ● 時間的な制約の中で 教え上げることの難しさ

講習は時間が限られていましたが、生徒たちにはマジパンコンテストに出たいという目標がありました。その中で、マジパンの作り方について理解してもらっただけでなく、実際に自分で作れるようになるまで、指導しなければなりません。あまり細かいところまで教えていると全体像が見えてこない、分かりやすくその時間内で作れるまで指導するのに苦労しました。

時間内に生徒たちに教え上げることができればよいのですが、実際には時間的な制約というものが大きいように思います。生徒たちは何を教えてほしいのか、時間との関連で、教えたいこと、教えてほしいことを計画的に組み立てて、絞り込んでおくことが大切かと思います。

● ● ● 生徒の強いモチベーションが 私のモチベーションも上げてくれた

「コンテストに出て入賞したい」、「パティシエになって頑張ろう」という生徒たちばかりですので、そのモチベーションは強く伝わってきました。それが、逆に私自身のモチベーションも上げてくれたように思います。ありがたいという気持ちでした。そもそも私自身がまだまだ挑戦している段階ですから。

● ● ● 生徒の抱いている夢を 現実のものにしてあげたい

技能を身につけてパティシエの世界に入りたいという生徒さんばかりなのですが、この世界もなかなか厳しい世界です。技能を身につけて入っても、すぐにやめてしまう人やこの世界に入ること自体が難しかったりします。ですから、就職してそれなりに一人前になっていけるための助けとなれるように、その道を歩むための精神的な支えのようなものも多少なりとも伝えられたらいいなと思います。せっかく夢を抱いているので、その夢を現実のものにしてあげたいです。

ものづくりマイスター

河本 満夫 (かわもと みちお)

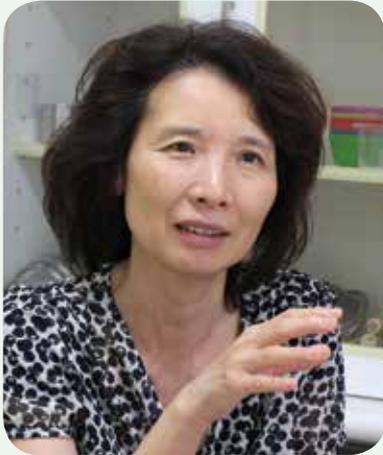
昭和45年7月14日生まれ

平成15年度 1級技能士 菓子製造(洋菓子製造作業)取得

平成25年度 厚生労働省ものづくりマイスター(菓子製造)認定



「ものづくりマイスター制度」を利用して 生徒たちの関心や向上心を刺激したい



嘉生 和美 教諭

● ● ● 外部の指導者に教えてもらうことは 良い刺激と良い効果を生む

コンテストや大会では、細かな、熟練した技能が要求されます。専科にはパティシエの先生がいますが、普段の授業の中ではなかなかそこまで教育するのは難しいところがあります。その部分を、外部から招いた先生、つまり、ものづくりマイスターにお願いしているところです。

「ものづくりマイスター制度」は、前任の時より受け入れており、現在、調整などは問題なくできています。

毎日接している指導者とは別に、外部の指導者に教えてもらうということは、良い刺激になり、良い効果が生まれてくるのではないかと思います。

● ● ● ものづくりマイスターによる直接指導は 学校現場にとって貴重

学校という場では、なかなかものを作るという機会がありません。そのため、河本マイスターのように技能・技術を自分のものにされている方から、時間をかけて直接学ぶという機会を持つことが非常に少なくなっていると思います。その意味では、この「ものづくりマイスター制度」は、ものづくりマイスターを目の当たりにして指導を受けられる仕組みですので、学校現場においても非常に貴重なものだと思います。この制度をいろいろな学校で導入して、生徒たち

の関心や向上心のようなものを刺激できればよいと思います。

● ● ● 「ものづくりマイスター制度」で 生徒たちのメンタル面での向上も 見え始めた

「ものづくりマイスター制度」を利用して、いろいろな方に来ていただいて生徒が指導を受ける機会を設けることは、とても大事なことだと思います。本当の効果というものは、すぐに出てくるわけではなく、ある程度時間が経ってから目に見えてくるでしょう。しかし、こうした制度を利用することで、生徒たちも少しずつ変わって、メンタル面での向上もあるのではないかと、少なくともそのように思わせるところが出てきたように思います。



河本マイスターの指導の様子

受講者の声

河本マイスターが持っているノウハウを私たちにわかりやすく教えてくださいました



山岡 佑梨さん



道上 夕真さん



吉川 美那さん

● ● ● 短い時間の中で 素早くとてもきれいに作り上げた/ 見ても、言葉でもとてもわかりやすい指導

講習は3時間くらいでしたが、あの短い時間の中で人形などを素早く、しかもとてもきれいに作り上げてしまうところがすごいと思いました。私たちがコンテストに出場するにあたって、マジパンに関する知識やこうしたらよいという技能的なことをいろいろと教えていただきました。(山岡さん)

初めて取り組みましたが、1回目でもわかりやすく指導していただきました。特に、色のバランスやものの配置するところがとても参考になりました。(道上さん)



細かいところまで教えてくださってとても参考になりました。見ても、言葉でも、とてもわかりやすく指導していただきました。バラの花の作り方を教えていただきましたが、ここをこうするともっとリアルになるよとコツを教えていただいたことが、大変参考になりました。(吉川さん)

● ● ● ものづくりマイスターの技を自分のものに/ 見て聞いたことを整理して記録しよう

ものづくりマイスターから教わっているときは、教えていただいていることの他に、更に何か1つものづくりマイスターの技を自分のものにしてしまおうと思って取り組むべきだと思います。(山岡さん)

見て聞いたことを後でも分かるように、そのままにせず整理してノートなどに記録しておくようにすべきだと思います。(道上さん)

教えてもらうということはとてもよい経験になるので、自分ができないと思うことでも、積極的に挑戦していったほうがよいと思います。(吉川さん)

地域技能振興コーナー担当者より

今回は、マジパンについて一から学んでいただきました。普段の授業では、なかなか踏み込めない領域でもあり、生徒のみなさんは、真剣に興味を持って取り組んでいました。

このようなものづくりマイスターによる指導は、「学校外から派遣された指導者」という刺激によって、

生徒たちの技能への関心をよりいっそう深めたものと確信しています。また、ものづくりマイスターの実技指導をとおして、生徒のみなさんは技能に関する職業についてより身近にイメージできたようです。

コーナーとしてはこれからも多方面にわたり積極的に導入を働き掛けたいと思います。